

週刊 ▶ 毎週木曜日発行

Weekly publication "SUMIKA CLUB" October 29

VOL.1146

住宅・不動産速報
バックナンバーは
Webで



編集・発行
上毛新聞社営業局
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21
TEL.027-254-9951
FAX.027-253-9999
✉ sumika@raijin.com
http://www.sumikaclub.com

すみくらぶ

快適さを凝縮して カスタマイズされた 夫婦2人のための平屋の家



House data

【家族構成】夫、妻
【施工・設計】(有)大竹住建

ユーザー紹介：2面へ



寒さが深まるこの時期に室内の暖かさを体感できます。
住んでいるからわかる快適さや収納の
ポイントなど何でもお聞きください。

見学は予約制

完成現場見学会開催!!

今人気の平屋住宅!! これからのライフスタイルを考えた平屋のおうちです。

2020年12月5日(土)・6日(日) 10:00~16:00

完成見学会

FPによる資金計画
相談会も行います!!

新型コロナ対策 完全予約制で1組様ずつのご案内とさせていただきます。
※完成前見学は随時受け付けております。

無理のない予算で「笑顔が広がる住まい」を提供します

人とお財布にやさしい「エコ住宅」

oii 有限会社 大竹住建

沼田市横塚町1391-1 TEL.0278-25-9192
【営業時間】8:00~18:00 【定休日】年末年始・GW・お盆休み

家づくりの第一歩は資料請求から

大竹住建 検索 無料
https://www.ohtakejuken.jp/

バーチャルビューが
ご覧になれます。
スマートフォンやタブレットからの
閲覧は、パソコンと違ってデータ
容量がつかつかたります。





アイランドキッチンのあるLDK。テレビの背後はウォークインクローゼット

快適さを凝縮して カスタマイズされた 夫婦2人のための平屋の家

長年の信頼関係のある工務店に依頼

H邸は、すでに子どもたちが独立した夫婦が、利便性と快適性を追求して建てた家。元々、敷地内には、Hさんの親が建てた大きな養蚕農家の古民家と、平成になってからHさんが建てた家族で住んだ家があった。今回、古民家を新しい



十分な収納スペースのあるウォークインクローゼット。取り囲むホールスペースも広々とした通りとなっている

平屋に建て替えた。「夫婦2人暮らし用に最適なサイズの、便利なシニアハウスが欲しかった」とHさんは語る。

設計と建築は、今まで暮らしてきた家のビルダーでもある大竹住建に依頼した。すでに信頼関係も構築され、安心して任せた。計34坪の平屋は、暮らしを便利にするためのアイデアが詰め込まれ、最先端のIoT技術と大胆な生活動線がミックスされた空間に仕上がった。

大胆な発想で生まれた使いやすい生活動線

H邸は、玄関を入ると大きなワンフロアのLDKが広がる。注目すべきは、その動線だ。1階のほぼ中央部にウォークインクローゼット(WIC)がある。洗面脱衣室からWIC、そして洗濯物干し場

であるサンルームが一直線上に並ぶ。WIC内は人感センサー付照明のため、両手で荷物を持っていてもスイッチを点ける必要がない。広さも申し分なく、ここだけで夫婦2人の収納はほぼ完璧だろうと思われる。

アイランドキッチンは、夫婦2人で料理を楽しむにも最適な広さと開放感がある。キッチン背後にはパントリーがあり、食材などはすべて収納できる。キッチン上部、1階ホール部分には天窓を配し、採光性も上々だ。和室には、かつての古民家で使用されていた書院障子や床柱をリメイクして配置した。

「将来のことを考え、風呂やトイレ、廊下など、一つ一つの空間をワイドにしてあります」とHさんが語るように、それぞれの空間の広がりゆとりがあり、また、明るさも十分である。

インターネットで暮らしの利便性を追求



天窓もあり、明るく広々としたLDK。壁面に設置した造作カウンターも便利だという



■建築面積 / 113.44㎡(34.32坪) ■延床面積 / 113.44㎡(34.32坪)
■建築工法 / 木造軸組工法 ■完成日 / 2020年6月



旧宅の素材を巧みに利用した和室

そして、H邸のもう一つの特色は、最新の高性能住宅である点だ。高気密高断熱のオール電化住宅に太陽光パネルを約8kW搭載している。照明、エアコンなどの家電類はスマホと連動し、外出先からも操作が可能だ。もちろんテレビとパソコンもインターネットにつながっている。配線類なども設計段階から一元化し、シンプルにまとめた。

断熱性の高さで太陽光発電の売電により、月間の電気代は約1万円、余剰電力の売電によってプラス数千円程度になるという。H邸は「エコ住宅」でもある。

「老後のことも考え、いかに楽なライフスタイルを実現できるかを最優先した家づくりでした。わたしは寒がりなので、快適空間で過ごせる今度の冬が楽しみです」とHさんは満足そうに話した。



「快適な空間で、夫婦仲良く暮らせそうです」と笑うHさんご夫妻。右は大竹博之社長と奥さま



担当者からひとこと (代表取締役・大竹 博之)

創業以来、多くのお客さまの家づくりに携わる中で、良い家とはどんな家か、幸せな暮らしとは何かを考えた結果、誕生したのが人とお財布にやさしい「エコ住宅」でした。家を建てた後も、楽しく幸せに

暮らしていただくためには、コスト面だけでなく性能も妥協することはできません。Hさんご夫妻の家づくりでは、性能はもちろん、快適な空間設計にも注力し万全を尽くしました。